住民が想いをひとつにし、住民が望む支え合い活動を 住民がカタチにする取り組み

住民に身近な地域で支え合い活動を広めるため、行政区ごとに住民ワークショップを開催。住民が地域の 支え合いの必要性を我が事として捉え、活動を創出。今までとは違う三芳町民のパワーを感じています。



~ 身近な地域で行う住民ワークショップ (現在3カ所で開催) ~

1 生活不安・困りごとを共有

自分達でほしい支え合い活動を話し合う

- (1) 現在の生活の困り事、10年後の不安(身体・認知の低下・独居になった時) が共有される。
- (2) 共有された困り事や不安を解消する為にどんな取り組みが必要かを話し合ったところ、共通の答えが…



2 地域で支え合い活動をすすめる『居場所』づくりが始まる



支え合いは知り合うことから!! 集会所を自由に使えるように 月に1回開放日を設ける。



皆で集まり、困り事を支え合おう!! 月に1回の集いを開催し、困り事の 話があれば支え合い活動を行う。



集いだけではない活動を!! 要支援者も参加し、困り事を助け合う活動を検討中。

3 『居場所』から広がるつながり・支え合い活動



高齢者だけじゃなく、子どもも 緒に!! 現在、子どもや独居高齢者も集えるコミュニティ食堂の開催を検討中。



集いで聞いた困り事を支え合い活動で!! 集いで寄せられた困り事を参加者 同士で支え合う活動を開始。

三芳町で少しずつ、 支え合いの花が 咲きだしています

